

釧路市の紹介

釧路市の紹介

1 釧路市の生い立ち

釧路の語源である「クスリ」が地名として、文献の上に現れたのは、西暦 1643 年松前藩の蝦夷交易船の上乗役が当時の模様などを記した「松前旧事記」に、釧路の地名が「クスリ」と記録されているのが最古のものである。

江戸時代末期、本道周辺の重要性から幕府は松浦武四郎等に命じて本地方の探求をさせ、北方防備の重要性などもあり松前藩が「クスリ場所」と称する漁場を開設し、明治 2 年にクスリは釧路と改称釧路国釧路郡の名が定まる。

翌明治 3 年には「釧路場所」漁場持四代目佐野孫右衛門が、秋田、山形、函館付近から移住者を募集して 174 戸 537 人が定住するようになった。

明治 13 年に釧路戸長役場が設置され、その後漁場を中心として石炭鉱業、製紙工業などの産業振興がみられ、明治 23 年には釧路港が政府から特別輸出港に指定され、石炭や木材の積み出しが盛んとなり、明治 40 年には函館～釧路間の鉄道が全通。海陸交通の要衝として町勢も次第に隆盛の一途をたどり、教育施設の整備をはじめ諸官庁の出先機関も相次いで設置されるなど、市街地の形態も次第に整ってきた。この間、明治 33 年には町村制が施行、釧路町（人口 10,309 人、戸数 2,129 戸）が誕生。

その後、大正 11 年 8 月 1 日には札幌、小樽、函館、室蘭、旭川の各市とともに市制が施行され（人口 42,673 人、戸数 8,494 戸）、名実ともに東北海道（道東）の中心地として発達した。

昭和 24 年、当時の鳥取町と白糠村の一部を合併（人口 85,180 人）昭和 35 年釧路空港が完成し道東の拠点機能を担う都市基盤が確立された。

さらに平成 17 年 10 月に釧路市、阿寒町、音別町の 1 市 2 町が合併、新生「釧路市」が誕生した。産業にあっては道東唯一の不凍港である重要港湾・釧路港を基軸に、水産業、紙パルプ工業、石炭産業、後背地における酪農業や林業、そして観光産業を基幹産業とし、特に観光は「釧路湿原国立公園」、「阿寒摩周国立公園」の 2 つの国立公園を有し、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前では、年間 500 万人を超える観光者数を誇るなど、道東の拠点都市として飛躍と発展を続けている。

2 釧路市の姿

白い霧のベールに覆われたロマンチックなまち釧路市は、北緯 42 度 58 分 10 秒、東経 144 度 22 分 24 秒に位置し、1363.29 k m²で南は太平洋に面し、広大な面積と背後に原始の姿を伝える釧路湿原国立公園、阿寒摩周国立公園の 2 つの国立公園が広がる雄大な自然を有する、道東の社会、経済、文化の中心都市として、着実な発展を続けています。

産業、経済の発展を支える東北海道における最大の重要港湾・釧路港を有し、豊潤な海をもつ釧路市は水産基地として全国にその名が知られています。また、海底下での石炭採掘技術と保安技術は世界的水準を誇り国の研修事業としてベトナムなどから研修生を受け入れています。また、炭鉱とともに歴史のある製紙工場は主に段ボール原紙を生産しています。

2 つの国立公園には、特別天然記念物の「タンチョウ」や「阿寒湖のマリモ」などをはじめ氷河期時代の生き残りといわれるキタサンショウウオや幻の魚といわれるイトウなど、約 2,000 種もの貴重な動植物の生息地でもあります。

北国釧路は、スケート競技やアイスホッケー競技において、オリンピック選手を多数輩出するなど「氷都くしろ」としても知られています。

平成 6 年 10 月に国際会議観光都市の認定を受け、さらには平成 28 年 1 月に国のプロジェクトである「観光立国ショーケース」にも選定されており、国際観光都市への取り組みを進め、中心街のウォーターフロント地区では各種機能の集積をはかり、市民や街を訪れた人々がふれあうことのできる、親水性を活かした個性的都市型遊空間の創造を進めるとともに、国際性を重視した地域に開かれた教育文化活動の充実に取り組み、新たな鼓動を刻んでいます。

気候は、春から夏にかけて釧路名物の霧が発生しますが、夏は最高気温が 20 度前後と涼しく、秋から冬にかけては晴天が続き、北国としては降雪量の少なさも特徴になっています。

自然と共生する世界に開かれた環境・交流都市をめざす釧路の姿です。

3 釧路市の人口・世帯数

調査年月日	区 分	人 口	世 帯 数
令和4年12月31日		160,483人	92,919世帯

4 釧路市の人口・世帯数の推移

年 別	面積(k㎡)	世 帯 数	人 口			摘 要 (10月1日)
			男	女	計	
大正14年	46.74	8,463	22,297	20,036	42,333	第2回国勢調査
昭和5年	46.74	9,522	28,081	23,505	51,586	第3回 "
" 10年	46.74	10,237	30,014	26,156	56,170	第4回 "
" 15年	46.74	11,538	33,700	29,480	63,180	第5回 "
" 22年	46.74	12,412	31,197	30,171	61,368	臨時 "
" 25年	212.02	18,077	48,003	45,354	93,357	第7回 "
" 30年	212.97	23,604	60,947	58,589	119,536	第8回 "
" 35年	212.92	33,779	76,878	73,746	150,624	第9回 "
" 40年	212.92	44,853	87,322	86,783	174,105	第10回 "
" 45年	217.66	54,680	94,700	97,248	191,948	第11回 "
" 50年	217.66	63,606	101,530	105,310	206,840	第12回 "
" 55年	218.34	70,205	105,371	109,323	214,694	第13回 "
" 60年	218.78	72,230	104,534	110,011	214,545	第14回 "
平成2年	221.29	74,251	99,179	106,460	205,639	第15回 "
" 7年	221.46	77,580	95,994	103,329	199,323	第16回 "
" 12年	221.61	79,796	91,694	100,045	191,739	第17回 "
" 17年	1,362.75	82,079	90,338	100,140	190,478	第18回 "
" 22年	1,362.75	81,015	85,474	95,695	181,169	第19回 "
" 27年	1,362.92	82,078	82,185	92,557	174,742	第20回 "
令和2年	1,362.92	80,349	77,506	87,571	165,077	第21回 "

5 市勢と現有消防勢力の対比

〈本部・署〉

年別	区分	消防職員1名に対する			署・支署に対する			消防車1台に対する		
	職員数	面積	世帯	人口	面積	世帯	人口	面積	世帯	人口
平成30	321	6.65	308	555	213.6	9,881	17,828	142.4	6,587	11,885
令和元	320	6.68	308	549	213.6	9,856	17,580	133.5	6,160	10,987
令和2	320	6.68	307	541	213.6	9,813	17,321	133.5	6,133	10,825
令和3	320	6.68	305	533	213.6	9,747	17,050	133.5	6,092	10,656
令和4	320	6.68	303	524	213.6	9,688	16,772	133.5	6,055	10,482

※ 平成17年10月11日より白糠町より消防事務委託を受ける。

令和4年12月31日現在

署・支署数 10箇所、

消防ポンプ自動車（署配備）16台

白糠町 人口7,234人、世帯数3,957世帯、面積773.13km²

〈消防団〉

年別	区分	消防団員1名に対する			1箇分団に対する			消防車1台に対する		
	団員数	面積	世帯	人口	面積	世帯	人口	面積	世帯	人口
平成30	445	3.1	213	383	75.7	5,259	9,465	47.00	3,264	5,875
令和元	438	3.1	216	384	75.7	5,248	9,338	47.01	3,257	5,796
令和2	417	3.3	226	397	75.7	5,225	9,204	47.01	3,243	5,713
令和3	405	3.4	231	403	75.7	5,192	9,062	48.69	3,338	5,825
令和4	401	3.4	232	400	75.7	5,162	8,916	48.69	3,319	5,732

※ 分団数 18箇所

車両 ポンプ車19台、小型ポンプ積載車9台

6 釧路市の気象概況（令和4年）

（1）月別気象概況

釧路市の気象概況（2022年）

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
平 均 気 象 概 況	平均気圧（現地）hPa	1005.0	1006.7	1007.8	1010.0	1006.7	1006.0	1005.6	1003.7	1010.6	1014.2	1011.6	1005.3	1007.8
	平均気圧（海面）hPa	1010.1	1011.7	1012.8	1015.0	1011.6	1010.7	1010.2	1008.3	1015.3	1019.0	1016.5	1010.4	1012.6
	平均気温℃	-4.2	-4.1	0.9	5.6	10.0	13.5	19.2	19.5	17.5	11.7	6.6	-1.1	7.9
	日最高気温の平均℃	0.0	0.4	4.4	10.4	14.1	17.1	22.6	22.4	21.6	15.9	11.0	2.8	11.9
	日最低気温の平均℃	-8.8	-9.3	-2.7	1.6	6.6	10.9	16.6	17.0	13.3	6.9	1.0	-5.6	4.0
	蒸気圧の平均hPa	3.3	3.3	5.3	7.0	10.5	13.9	20.3	20.7	17.5	11.3	7.0	3.5	10.3
	相対湿度の平均%	70	72	81	77	85	87	91	91	87	80	70	61	79
	降水量mm	41.5	16.0	95.0	26.0	123.0	154.5	238.0	285.5	91.0	100.0	46.0	71.0	1287.5
	日照時間h	192.8	202.0	193.1	238.4	183.5	135.3	124.1	96.4	158.0	160.0	161.1	198.0	2042.7
	日照率%	67	69	53	60	41	30	27	22	42	47	55	71	46
	平均風速m/s	5.7	4.7	5.1	5.2	5.4	4.9	3.7	4.5	4.4	5.0	5.6	6.6	5.1
	最多風向	北北東	北北東	北北東	南南西	南南東	北東	北東	南	北北東	北北東	北北東	西	北北東
	降雪の深さの合計cm	24	15	35	12	—	—	—	—	—	—	—	22	103
	日 数	霧	1	2	7	8)	17	5)	9)	11	12)	5	2	1
不照		1	0	4	3	3	4	9	9	5	2	3	3	46
雪		11	10	13	4)	0	0)	0)	0	0)	0	5	10	50
雷		0)	0]	0)	0)	1)	2	4	3)	0)	0	0)	1)	11]
日降水量 0.0mm以上		11	10	16	14	24	23	26	25	16	20	17	11	213
日降水量 0.5mm以上		5	2	8	8	10	12	13	20	7	8	7	6	106
日降水量 1.0mm以上		5	1	8	6	9	10	11	19	7	8	6	5	95
日降水量 10.0mm以上		1	1	4	1	4	6	5	7	5	3	2	3	42
日最大風速10.0m/s以上		14	10	15	19	16	9	3	9	8	12	16	21	152
日平均気温 0℃未満		27	26	13	0	0	0	0	0	0	0	0	21	87
日最高気温 25℃以上	0	0	0	0	0	1	4	4	2	0	0	0	11	
極 値	日最高気温の最高℃	4.5	4.2	12.2	18.0	17.8	25.5	33.5	27.7	25.8	21.8	16.2	9.7	33.5
	日最低気温の最低℃	-17.6	-14.2	-8.3	-6.2	1.3	3.7	12.1	13.1	5.8	-1.2	-4.0	-12.7	-17.6
	最小湿度%	29	36	26	15	34	51	54	52	38	39	30	25	15
	日降水量の最大値mm	24.5	15.5	41.5	10.0	26.0	35.5	129.5	45.5	30.0	49.5	20.0	27.5	129.5
	1時間降水量の最大値mm	6.0	2.5	9.0	3.0	8.0	21.5	25.0	33.0	10.5	10.0	11.5	9.0	33.0
	最深積雪cm	22	27	19	8	—	—	—	—	—	—	—	11	27
	最大風速m/s	20.3	18.2	18.0	19.3	16.6	18.6	13.0	20.3	15.6	16.8	19.3	20.1	20.3
最大瞬間風速m/s	26.9	24.8	27.5	24.8	22.5	21.4	17.9	24.5	19.4	23.2	24.7	26.9	27.5	
有感地震回数	1	2	6	2	1	1	2	2	3	4	3	0	27	
季 節		霜			雪			結氷			積雪			
	初日	2021年10月19日			2021年11月22日			2021年10月19日			2021年12月17日			
	終日	2022年04月15日			2022年04月02日									

注1 「降雪の深さの合計」「雪日数」「積雪の最大値」の年の統計及び季節の初日・終日は、2021年8月1日から2022年7月31日までの統計となり、これを「2022寒候年」と呼びます。このため、例えば「降雪の深さの合計」「雪日数」では2022年1月から12月までの合計と年間では一致しない数値となります。

注2 数値に、「）」や「]」が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示します。

注3 雪の終日は自動観測で最後に観測された日、積雪の終日は日最深積雪1cm以上を最後に観測した日としています。

注4 有感地震回数は釧路市幸町、釧路市音別町尺別、釧路市黒金町、釧路市阿寒町中央、釧路市阿寒町阿寒湖温泉、釧路市音別町中園のうち1か所以上で震度1以上を観測した回数を示します。

注5 霜・結氷は2020寒候年より初日のみの観測となったため、終日の観測はありません。

(2) 釧路南西部における気象注意報・警報発表状況

ア 気象注意報

2022年 釧路南西部の注意報						
種類	月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	合計
注 意 報	風 雪	6	0	0	0	6
	強 風	18	24	13	30	85
	大 雨	1	6	19	2	28
	大 雪	6	0	0	1	7
	高 潮	1	0	0	1	2
	波 浪	15	14	15	18	62
	洪 水	1	2	13	1	17
	着 雪	10	1	0	3	14
	乾 燥	2	2	0	7	11
	濃 霧	22	22	20	21	85
	霜	0	7	3	7	17
	な だ れ	7	2	0	1	10
	融 雪	1	1	0	0	2
	低 温	8	4	0	0	12
	着 氷	2	0	0	0	2
	雷	7	22	20	16	65
四半期別発表回数		107	107	103	108	425

イ 気象警報

2022年 釧路南西部の警報						
種類	月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	合計
警 報	暴 風	1	0	0	1	2
	暴 風 雪	2	0	0	0	2
	大 雨	0	0	4	0	4
	大 雪	1	0	0	0	1
	高 潮	0	0	0	0	0
	波 浪	3	0	1	2	6
	洪 水	0	0	1	0	1
四半期別発表回数		7	0	6	3	16

(3) 釧路中部における気象注意報・警報発表状況

ア 気象注意報

2022年 釧路中部の注意報（釧路市阿寒）						
種類	月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	合計
注 意 報	風 雪	7	0	0	1	8
	強 風	7	10	4	10	31
	大 雨	0	3	13	1	17
	大 雪	8	0	0	2	10
	洪 水	1	0	9	1	11
	着 雪	12	1	0	4	17
	乾 燥	2	2	0	7	11
	濃 霧	22	44	49	23	138
	霜	0	7	3	7	17
	な だ れ	8	3	0	1	12
	融 雪	1	3	0	0	4
	低 温	8	4	0	0	12
	雷	7	22	20	16	65
四半期別発表回数		83	99	98	73	353

イ 気象警報

2022年 釧路中部の警報（釧路市阿寒）						
種類	月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	合計
警 報	暴 風	0	0	0	0	0
	暴 風 雪	0	0	0	0	0
	大 雨	0	0	2	0	2
	大 雪	1	0	0	1	2
	洪 水	0	0	0	0	0
四半期別発表回数		1	0	2	1	4